

本部長指示

- 「令和元年6月死亡事例に係る検証報告書」の提言を受けて、これまで各局区において組織体制の強化、アセスメント及び支援方針の徹底、関係部局間の連携強化のためのシステム構築など、様々な取組を進めてきたところだが、各部局の自己評価にあるとおり、児童虐待防止対策の取組はまだまだ道半ばであり、今後も更に取り組を進めていく必要があるものと認識している。
- 特に、これまでも重ねて職員に伝えてきた「協働の視点」と「支援を受ける側に立った観点」を持って仕事にあたる組織風土をつくっていくことは、一朝一夕でできることではなく、今後も継続的に、全組織、全職員が共通の認識に立ったうえで、仕事の仕方を考えていかなければならない。
- 事案が発生してから、まもなく2年経とうとしているが、私自身、これからも札幌市が行うべきことを着実に実行していく決意であり、今後も全庁一丸となって、たゆまずに取り組を進めるとともに、今後、予定されている専門委員による外部評価の結果を待たずして、改善が必要と考えられる項目については、ただちに検討を開始するよう指示する。